

あぶしん景況レポート

2023年10～12月期



総合企画部

Vol.14 2024.1発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

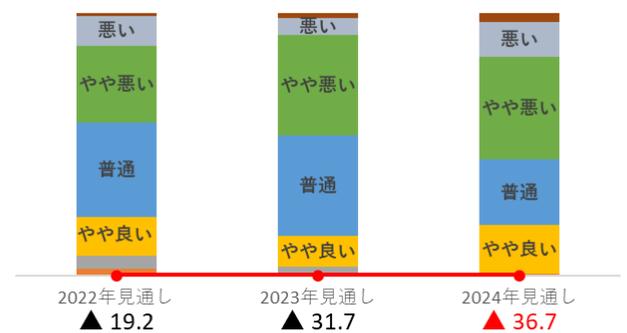
業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2023年 7～9月								▲ 19.2
2023年 10～12月								▲ 13.3
2024年 1～3月 (見通し)								▲ 21.7

- 2023年10～12月期(今期)の業況判断D.I.は▲13.3と、前期比5.9ポイントの改善となった。業種別にみると、小売業は前期比23.8ポイントの大幅改善となった。
- 2024年1～3月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲21.7と、今期実績比8.4ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業と不動産業を除く4業種で悪化の見通しとなっている。

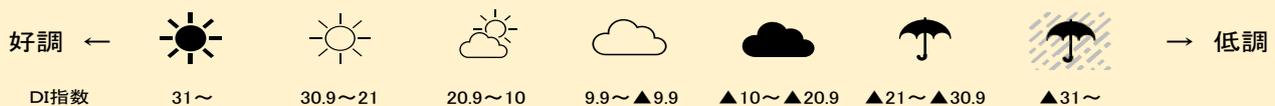
特別調査 - 2024年(令和6年)の経営見通し -

- 2024年の自社の業況予想について、良いと回答する割合は19.2%、悪いと回答する割合は55.8%、「良い-悪い」が▲36.7となった。1年前の調査(▲31.7)と比べて5.0ポイントの悪化となり、業況は低調な推移が見込まれる。
- 業種別に見ると、1年前の調査と比べて卸売業と小売業を除く4業種で悪化した。

翌年の自社の業況予想(毎年12月調査)



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ！



携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん

<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	5.0	30.0	20.0	40.0	5.0	▲ 10.0
	実績	5.0	20.0	25.0	20.0	30.0	▲ 25.0
来期 (1-3月)	予想	5.0	15.0	35.0	30.0	15.0	▲ 25.0

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 10.0 ポイント悪化の ▲25.0 となった。対象企業の半数が今期の業況において「やや悪い・悪い」と回答した。原材料高・人手不足の声は継続して聞かれており、業況は低調な推移を見込む。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	原材料高	70.0%	65.0%
2	売上の停滞・減少	45.0%	35.0%
3	人手不足	35.0%	15.0%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	80.0%	55.0%
2	販路を広げる	55.0%	60.0%
3	機械化を推進する	25.0%	20.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	5.6	72.2	22.2	0.0	▲ 16.7
	実績	0.0	22.2	44.4	22.2	11.1	▲ 11.1
来期 (1-3月)	予想	0.0	5.6	50.0	33.3	11.1	▲ 38.9

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 16.7 ポイント改善し ▲11.1 となった。来期(予想) D.I. は ▲38.9 と 27.8 ポイント悪化の見込み。仕入先の値上げ分を販売価格に転嫁することが難しく、利益確保が厳しい状況。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	50.0%	50.0%
2	利幅の縮小	44.4%	33.3%
3	同業者間の競争の激化	27.8%	38.9%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	66.7%	88.9%
2	経費を節減する	38.9%	33.3%
3	品揃えを充実する	27.8%	16.7%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	14.3	66.7	14.3	4.8	▲ 4.8
	実績	0.0	33.3	42.9	19.0	4.8	9.5
来期 (1-3月)	予想	0.0	19.0	57.1	23.8	0.0	▲ 4.8

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 23.8 ポイント改善し 9.5 となった。経営課題に「仕入先からの値上げ要請」と回答した企業の割合が大幅に増えた。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	仕入先からの値上げ要請	38.1%	19.0%
2	人手不足	33.3%	28.6%
3	売上の停滞・減少	28.6%	33.3%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	42.9%	42.9%
1	人材を確保する	42.9%	23.8%
3	品揃えを改善する	23.8%	23.8%
3	教育訓練を強化する	23.8%	9.5%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	50.0	30.0	5.0	▲ 20.0
	実績	0.0	15.0	55.0	30.0	0.0	▲ 15.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	15.0	50.0	35.0	0.0	▲ 20.0

業況判断D.I.は前期（実績）より5.0ポイント改善し▲15.0となった。新型コロナウイルスの5類化により上向きの兆しは現れている様子だが、材料価格の上昇等を踏まえ、来期（予想）D.Iは5.0ポイント悪化の▲20.0となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	材料価格の上昇	50.0%	45.0%
2	人件費の増加	45.0%	20.0%
3	人手不足	40.0%	30.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	40.0%	50.0%
1	人材を確保する	40.0%	20.0%
3	販路を広げる	35.0%	35.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	4.8	9.5	57.1	23.8	4.8	▲ 14.3
	実績	0.0	14.3	42.9	38.1	4.8	▲ 28.6
来期 (1-3月)	予想	0.0	9.5	42.9	38.1	9.5	▲ 38.1

業況判断D.I.は前期（実績）より4.8ポイント悪化の▲28.6となった。対象企業の過半数が経営課題の1つに「人手不足」をあげている。来期（予想）D.Iは9.5ポイント悪化の▲38.1となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	57.1%	47.6%
2	材料価格の上昇	42.9%	52.4%
2	利幅の縮小	42.9%	14.3%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	52.4%	61.9%
2	経費を節減する	47.6%	47.6%
2	販路を広げる	47.6%	42.9%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	75.0	10.0	0.0	5.0
	実績	0.0	5.0	80.0	15.0	0.0	▲ 10.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	5.0	85.0	10.0	0.0	▲ 5.0

業況判断D.I.は前期（実績）より5.0ポイント改善の▲10.0だった。中古物件市場が活発になっているとの声もあり、重点経営施策で「情報力を強化する」と回答した企業の割合が増えた。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	同業者間の競争の激化	40.0%	35.0%
2	売上の停滞・減少	35.0%	25.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	情報力を強化する	45.0%	30.0%
2	販路を広げる	30.0%	30.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

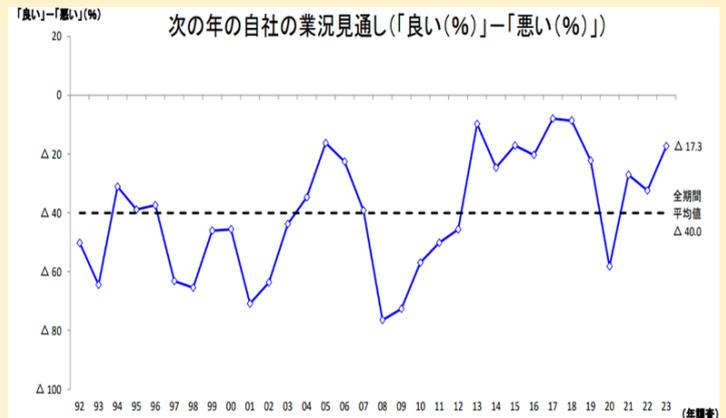
回答社数: 13,346社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2023年 7~9月								▲ 7.0
	2023年 10~12月								▲ 3.3
	2024年 1~3月 (見通し)								▲ 8.0
東北	2023年 10~12月								▲ 15.3

- 全国の2023年10~12月期(今期)の業況判断D.I.は▲3.3、前期比3.7ポイント改善し、およそ4年半ぶりの水準まで回復した。2024年1~3月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲8.0、今期実績比4.7ポイントの低下を見込んでいる。
- 東北地区の2023年10~12月期(今期)の業況判断D.I.は▲15.3と、前期比2.7ポイント改善した。2024年1~3月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲26.6と、11.3ポイント低下を見込んでいる。

特別調査 - 2024年(令和6年)の経営見通し -

- 2024年の自社の業況見通しについては、「良い」と回答した割合が16.8%、「悪い」と回答した割合が34.1%となり、「良い」-「悪い」は▲17.3となった。1年前の調査と比べて15.1ポイントの改善となった。
- 従業員規模別では、規模が小さいほど弱気の見通しとなった。業種別では建設業、不動産業が比較的強気な一方で、小売業では比較的弱気の見通しとなった。



全国の調査員からのコメント

- DXの進歩や若手経営者の増加を受けて、Web媒体による広告ニーズは増大している。増員を検討している。(Web広告 富山県)
- 2024年は運送業の残業規制を受け、配送コストの増加が予想される。(青果卸 岡山県)

【調査要領】

1. 調査時期 2023年12月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。